

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成19年度の畜産環境汚染の発生は、17件と前年に比べ7件増加した。
原因別では「水質・悪臭」が最も多く、発生件数全体の29%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	16年度	17年度	18年度	19年度
悪臭発生	43	52	14	10	7	5	4
水質汚濁	25	19	1	5	4	2	3
水質・悪臭	11	8	2	3	0	1	5
悪臭・害虫	16	6	2	1	2	1	3
害虫発生	21	19	0	0	0	1	1
道路飛散	5	7	0	0	0	0	1
計	121	111	19	19	13	10	17

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	16年度	17年度	18年度	19年度
豚	65	50	9	11	7	3	11
乳用牛	30	25	0	0	1	0	0
肉用牛	4	5	1	2	1	4	3
採卵鶏	21	23	9	6	2	2	3
ブロイラー	1	1	0	0	2	0	0
その他(馬)	0	7	0	0	0	1	0
計	121	111	19	19	13	10	17

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

飼養規模別件数(畜種別合計の平成19年度内訳)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫	道路飛散
豚	1～49頭						
	50～499頭				1		
	500～999頭		1				
	1,000頭以上	2	2		3	1	1
牛	1～19頭					2	
	20～29頭						
	30～49頭						
	50～99頭						
	100頭以上				1		
採卵鶏	1～4,999羽						
	5,000～9,999羽	1					
	10,000羽以上	1		1			
ブロイラー	1～9,999羽						
	10,000～29,999羽						
	30,000～49,999羽						
	50,000～99,999羽						
	100,000羽以上						
その他							
計		4	3	1	5	3	1

資料：県畜産課調査